

》》》 第1回深川南部・臨海部 報告書

まちづくり 話し合い ひろば

深川南部 8名
臨海部 6名

2023.4.26

豊洲シビックセンター
13:30～15:30

「まちづくり話し合いひろば」では、日頃から感じている地域の福祉課題や強みを念頭においていただきながら、「福祉のまちづくり」のアイデアを出し合います。そのアイデアを第5次地域福祉活動計画の中に盛り込むことで、実際の活動へとつなげ、広げていくための機会とします。



ワークショップ 地域のいいところ

深川南部

1班



- ①景観がおしゃれ。海が見える。情報発信の注目スポットが多い。水辺が多く朝焼けがきれい。フレンドリーなカモメもいる。
- ②人が親切。知らない人でも気軽に話しかけてくれる。公園も多く子どもがのびのびと過ごせ、子どもの声がよく聞こえる。
- ③コンビニが近く道が広くて利便性が高い。銀座に近い。

2班

- ①古い一軒家や下町情緒のあるところと新しい町が混在しているところ。町会が充実してお祭りがあるところ。新しい街では若い人が多く新しいワクワクするコミュニティができている。
- ②環境。運河があったり海が近かったりするところ。木場公園、ぐるり公園等公園が多いところ。スポーツ施設、文化センターが充実している。総合病院もあり、大学が5つもある。新しい未来が作れる街。
- ③イベントが多い。木場公園の江東区民まつりには何十万という人が来る。避難所としても良い公園。



臨海部

3班



- ①新しいマンションの建設により、子どもの数が増え小学校が4つになった。子どもがたくさんおり、それは将来的には良いことなのだと思う。
- ②この豊洲地区は都市計画がしっかりしている。計画通りに街が作られていっているので道路がしっかりしていて歩道が広い。子ども連れでの散歩、運河沿いの散歩もでき、マンションは耐震構造で防災上の問題が少ない。
- ③生活に便利なスーパーが5つあり、どの店も歩いて2～3分ぐらいの範囲にありコンビニもたくさんある。
- ④交通の便が良い。羽田行きのリムジンが30分くらいで来るバス停もある。

深川南部

- コミュニティの希薄化。孤立している家族が多い。若い世帯が増えてお互いが関わり合う機会が少なくなった。
- 大学が5つあるが、大学と地域との交流がもっと深くあると、豊かな情報が地域の皆さんにも届きお互いに良い関係が築けるのではないか。
- 区役所前のガソリンスタンドがいつまでも使われないうまま古くなり、そこへゴミが投げ捨てられたりして環境が悪くなっている。
- 家賃が高く障害者施設の参入がかなわない。障害のある方が気軽に相談ができる場所がほしい。高齢者や障害者の方々が気軽に寄れるカフェ、若い親子が気軽に相談できる居場所があると良い。
- 子どもたちが安全に安心して公園で遊べない。不審者情報が放課後の時間帯に多く、警察が巡回しているとはいえ心配。人口の割に交番が少ない。
- 企業との連携が進んでいない。また、企業と住宅が混在しているエリアでは、朝や夕方の通勤の時間帯に、歩いていくサラリーマンたちの間を縫うように信号を渡らなければならない。

臨海部



- マンション居住者と都営住宅居住者との交流がない。
- 豊洲文化センターを利用しようとも手続きが難しい・利用のハードルが高い・これから何か始めようと思っても仲間集めが難しい。 →一軒家があれば、借りられるか(そもそもない)。



本日は、「地域のいいところ」と「地域の困りごと」をセットで考えました。そうすることで「地域の強みや」「地域の弱み」を浮かび上

がらせることができました。今回を基に、6月28日の2回目では、他の区全体の調査などの課題と突き合わせて振り返りを行います。

今日の「地域のいいところ」と「地域の困りごと」で出たご意見をもとに、次回2回目のワークショップでは「6年後にこうなったらいいなあ」と思う地域の目指すべき姿のビジョンを挙げていただき、共有し、個人でできる事、地域でできる事の目標を導き出したいと思います。

地域福祉活動計画担当 井上博



皆さまのお話を聞いていると、コインの裏表のように、プラスだと思っていたことがマイナスに反転していった。きらびやかな雰囲気の中で孤立が生まれていたり、所在ない人がいたり、住んでいる人ならではの住みに

くさや不満がたくさん話され、新鮮に感じました。これをどうプラスに転換していくか。古いものと新しいものを融合させ、新陳代謝を繰り返してきたこの地域の中で、異質な要素を掛け合わせて価値を生み出していく。集まっている方々も一人ひとりが意外性を持っていて、文化の担い手であると考え、このように人が出会って継続的に話し合い、つながっていく場自体が貴重になるのだなと感じました。2回目以降のひろばで、皆さまがどんな地域、もっと大きな社会の将来像を描いていくのかに注目したいと思います。

高崎健康福祉大学
健康福祉学部 岡田哲郎 講師

